

所 信 表 明 書

令和元年 9 月 11 日

氏 名

寺 嶋 一 彦

○管理運営について

強く、しなやかな、学長リーダーシップを発揮し、大学のシステム、構造改革を行います。優秀な学生の輩出や、優れた研究成果の創出が使命である大学において、まず大事なことは「明るく、元気に勤務、勉学し」、「各自の能力を十二分に発揮できる」環境を整備することです。そのため、トップダウンとボトムアップのバランスを最適にした大学の運営に努め教育・研究を促進します。運営費交付金減少に伴う財務対策としては、共同研究費の間接経費、入学者数の持続的確保、リカレント教育等で収益を上げ、そして民間人の理事登用で経営管理体制の刷新に取り組んでいきます。教員について、論文、外部資金、モノづくり、教育、管理運営、国際協力、高専連携など業務評価を正當に給料に反映させ、意欲の湧く評価システムを作ります。人事については、新たなテニユアトラック制度の構築や学長裁量ポストを活用し、労働意欲がわく吸引力ある人事制度改革を行います。事務業務の効率化については、若手事務職員への IT 教育を実施し、RPA、AI の積極活用を行います。

○教育について

目指す人材像は、モノづくり×IT に強く、グローバル・イノベーション能力を持ち、さらに逞しい人間力を有することです。そのため教育内容や事務の教育支援体制改革を行います。新たに、数理・データサイエンス・AI 科目を開講し、すべての学生が、自分の専門分野に AI を応用できる高度人材を育成します。またリベラルアーツ教育や産学連携・国際連携により、人間力を醸成します。これら新しい試みと共に、高専・本学・海外大学・産業界接続の新教育改革により、本学を高専生のあこがれの聖地とします。

○研究について

豊橋技科大といえば、あの分野が強い、教職員が優秀・熱心、一緒に研究開発したいと言われる大学を目指します。その象徴である EIIRIS 研究所を、センシング・IoT・AI・ロボット未来総合研究所（仮称）へと発展させ研究のフラッグシップにします。現在の 6 研究部門に、AI・データサイエンス分野、材料・物質分野、新生産加工分野、創薬・バイオ分野、未来都市システム分野、多文化共生分野などを加え、全学の教員が自分の専門をもとにフラッグシップの目的に向けて研究します。そのため、現在行っているイノベーション協働研究プロジェクトを長岡技科大、51 高専との連携へと拡張させることで大型共同研究を増加させ、社会実装研究を進展させます。また、世界ランキングの現状や向上策を見える化し、大学戦略の下に国際論文を増加させ世界の学術分野で注目を浴びるようにします。

○社会貢献、国際化について

産学連携では、シーズ技術の社会実装化に努め、大学の研究力強化や産業界の発展を目的とします。また、産学連携でのデザイン教育、実務訓練、MOT、アントレプレナー教育、海外企業派遣など強化することで、本学学生のグローバル・イノベーション能力育成と地域の人材育成に貢献します。国内企業－TUT－海外大学－海外企業の国際コンソーシアムを構築し、大学がハブになり連携体制を強化します。本学は、東南アジア連携に強く、今後は、ドイツ、フィンランドの先行グループに加え、欧米の先進国や中国・インドとの教育・研究連携強化が必要です。今まで少なかった国際共同研究を推進すると共に、学生の海外派遣をさらに進め、グローバル人材の育成をします。

○おわりに

私のアピールポイントは、システムづくりの知見を活かした大学運営の経験、広く教職員学生の意見を聞き、公平かつ責任ある意思決定ができること、そして豊富な人脈です。これをもとにトップマネジメントを行い、皆様と楽しくお仕事をさせて頂きたく思います。ただし学内で生じるパワハラ、不正行為、不平等などに対しては、時に鬼となり是正していきます。

最後になりますが、教職員・学生などが、いつでも自由闊達に議論できる雰囲気、憩いの空間を整備し、大学の原動力である皆様のモチベーションを向上させ、本学が世界できらりと光る大学になるよう全力で努めます。